

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 甲斐百合子

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和2年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答 弁 者
1. 新年度予算について	<p>【趣旨説明】</p> <p>本町の財政は、昨年度に引き続き、普通交付税不交付団体となったものの、複数の大規模事業もあり、令和4年度までは、財政調整基金を大きく取り崩していかなければならない状況であります。少子高齢化による人口減少が、社会のあり様を大きく変えていく過渡期中で、本町としても、柔軟に施策を展開させていく必要があると考えます。</p> <p>令和2年度予算編成方針において、山田町長は、令和2年度予算は、長期的な視点を見据えた、武豊町の将来構想を固めていく重要な予算編成であるとし、着実に「前」に進めていく決意を述べられました。</p> <p>本町の経済状況を見定めつつ、少子高齢化・人口減少による、教育や働き方改革、全世代型社会保障など、国や県からの様々な施策に敏感に対応し、大規模災害に対する防災減災対策など、住民の幸福のために、前に前に施策を進めていただくよう期待いたします。</p> <p>そこで、以下質問いたします。</p> <p>【質問事項】</p> <p>①新年度予算において、将来の武豊町のために盛り込んだ新規事業は何ですか。</p> <p>②新年度予算において、安全安心のための施策として、新規または拡充された事業は、何ですか。</p> <p>③県と市町村との協調による事業で、高齢者安全運転支援装置設置促進事業費補助金があります。早い段階での事業化が必要と考えますが、本町のお考えはどうですか。</p>	町長 副町長 教育長 部課長

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 甲斐百合子

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和2年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答 弁 者
2. 相談窓口について	<p>【趣旨説明】</p> <p>平成28年「ニッポン1億総活躍プラン」に、「地域共生社会」の実現が盛り込まれ、翌平成30年には、改正社会福祉法が施行。昨年末には、厚生労働省の「地域共生社会推進検討会」が最終とりまとめを報告しました。</p> <p>その中に、複合化・複雑化した課題を受け止める「断らない相談支援」を中核とする包括的支援体制の整備の促進があります。</p> <p>個人や世帯が抱える課題には、高齢の親とひきこもりの子の「8050問題」、介護と育児を抱えるダブルケア、ゴミ屋敷、ひとり親世帯や単身高齢者の生活困窮、障がい、認知症、難病、DV、住まい、就労など、厚生労働省によると、支援を必要とする人の60%は2つ以上、34%は3つ以上かかえているとのことです。</p> <p>しかしながら、現在それぞれの制度の枠組みの中で別々に対応されているため、世帯の複合課題や、制度の狭間、また自ら相談に行く力のない方には、十分な対応ができないのが現状ではないかと考えます。</p> <p>本町の横断的な支援のための体制づくりと、全世代全対象の課題を丸ごと受け止め、整理し、必要な支援につなげていくことのできる相談窓口の充実のため、以下質問いたします。</p> <p>【質問事項】</p> <p>①現在、本町が開設している総合的な相談窓口はありますか。また、対象や支援体制はどのようなようですか。</p> <p>②世帯の複合的な課題を丸ごと相談できる「断らない相談窓口」設置に対して、どのようにお考えになりますか。</p> <p>③課題整理と必要な支援につなげるスキルのある、専門職配置のお考えはどうですか。</p> <p>④地域の課題に対して、新たに活動を考えている方の相談窓口はどこになりますか。</p>	町長 副町長 教育長 部課長